



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550

URL https://www.nissui-pharm.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 (氏名) 谷津 精一 (TEL) 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,835	△1.0	168	△30.3	170	△34.9	△1	ー
2019年3月期第1四半期	2,864	△5.6	241	△29.7	261	△32.3	199	△12.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △22百万円(△112.6%) 2019年3月期第1四半期 174百万円(△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.06	ー
2019年3月期第1四半期	8.90	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	34,910	32,306	92.5
2019年3月期	35,901	32,827	91.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 32,306百万円 2019年3月期 32,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	20.00	ー	20.00	40.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期(予想)		20.00	ー	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	3.7	430	△35.2	470	△32.7	334	45.7	14.91
通期	13,300	6.0	1,330	1.3	1,420	2.5	1,014	29.2	45.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	22,547,140株	2019年3月期	22,547,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	152,455株	2019年3月期	152,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	22,394,703株	2019年3月期1Q	22,395,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

体外診断用医薬品の国内市場は、高齢化、健康意識の高まりにより、ここ数年微増で推移しておりますが、政府による医療費抑制策の基調は変わらず、厳しい環境が続いております。再生医療分野では、2019年度中に複数の再生医療等製品について厚生労働省の承認がおりる予定であり、再生医療等製品の供給拡大に向けた動きが活発になっております。

当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。この経営方針の実現に向けて、2019年度を起点とする2ヵ年の中期経営計画を新たに策定しました。「利益ある成長」「新たな企業イメージ醸成」「ステークホルダーへの還元」を重要課題として、事業の拡大、原価低減・業務効率化等のコスト削減、異業種テクノロジーの活用を推進しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ29百万円(1.0%)減少し28億35百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は自社製品の納品時期ズレ等により前年同期に比べ73百万円(30.3%)減少し1億68百万円、経常利益は前年同期に比べ91百万円(34.9%)減少し1億70百万円、投資有価証券評価損計上の影響もあり親会社株主に帰属する四半期純損失は1百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の状況は、概ね次のとおりです。

<診断薬事業>

売上高は前年同期に比べ38百万円(1.6%)減少し23億32百万円、営業利益は前年同期に比べ98百万円(22.1%)減少し3億46百万円となりました。

当事業の国内販売は、基幹病院や検査センターへの検査機器、製薬企業や食品企業への品質検査試薬の営業活動に注力しました。基幹病院や検査センター向けの検査では、納品の時期ズレにより深在性真菌症の補助診断キット「ファンギテック®Gテスト」の売上高が前年同期に比べ5割減少しました。製薬企業や食品企業向けの検査では、昨年6月よりバイオメリュー・ジャパン株式会社から導入した微生物迅速検査製品群が売上に大きく貢献しました。

海外販売は、東南アジア(中国・モンゴル・インド・ベトナム・マレーシア等)、南米地域(エクアドル・アルゼンチン等)の新規代理店の増加により、菌数測定用乾式簡易培地「CompactDry®」の売上高が前年同期に比べ7割増加しました。また、更なる成長が見込まれる欧州地域において、2019年4月1日に子会社 Nissui Pharma Solution をフランスに設立しました。新たに設立した子会社を軸に、「Myco Finder®」の販売等、再生医療分野における海外展開を積極的に推進してまいります。

<医薬事業>

売上高は前年同期に比べ9百万円(1.9%)増加し5億2百万円、営業利益は前年同期に比べ38百万円(269.3%)増加し52百万円となりました。

当事業は、連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社において、健康未来創造研究会へ主力商品である「コンクレバン®」、「シーアルパ®シリーズ」の拡売・新規会員店の獲得、その他の販路では機能性表示食品の拡売に注力しました。

上記の営業利益は、各事業に配賦できない支援部門に係る費用等2億30百万円が控除されておられません。

<研究開発活動等>

2018年度に引き続き、新たなビジネス創出の機会として、将来有望と考えられる研究プロジェクトや独創的かつ萌芽的なアイデアなどを早期に発掘し、共同研究また実用化に通じる創成を目指す日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」(エヌアイズ)の2019年度の公募を8月より行うこととしました。多くの研究機関からの応募テーマに対して、当社研究課題とのマッチング、研究内容の独創性や有用性、研究計画の実現性等を判断し、採択する予定としております。なお、2018年度の日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」では5件を採択し、採択施設との共同研究を今年度より開始しております。「NeyeS」の活動を通じて、再生医療関連技術、細胞培養関連シーズおよび検査・検出技術などをテーマとして、基礎研究から臨床研究および検査・情報処理まで斬新でユニークなアイデアやノウハウ、将来的な医療に役立つシーズを探索し、支援してまいります。

当社は、外部企業との連携や大学等との共同研究に関するアライアンスやコア事業強化に向けた事業提携の調査を行い、これまでに4つのバイオベンチャー企業に出資を行っております。今後も、これら分野に関する企業への出資を積極的に行い、臨床現場で使用する製品や技術の開発に注力し、医療の進展に貢献してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億91百万円(2.8%)減少し349億10百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金6億49百万円、有価証券5億0百万円の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億70百万円(15.3%)減少し26億3百万円となりました。これは主に買掛金1億63百万円、未払法人税等1億74百万円、賞与引当金1億44百万円の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億21百万円(1.6%)減少し323億6百万円となりました。

この結果、自己資本比率は92.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月10日に公表した業績予想から変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401	2,657
受取手形及び売掛金	3,403	2,754
有価証券	500	—
商品及び製品	1,799	1,873
仕掛品	341	336
原材料及び貯蔵品	871	969
関係会社預け金	19,983	19,991
その他	140	183
貸倒引当金	△35	△26
流動資産合計	29,406	28,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,444	1,419
機械装置及び運搬具 (純額)	374	351
土地	1,752	1,752
リース資産 (純額)	34	29
建設仮勘定	78	79
その他 (純額)	162	157
有形固定資産合計	3,848	3,790
無形固定資産		
ソフトウェア	72	67
リース資産	28	24
ソフトウェア仮勘定	1	1
その他	6	6
無形固定資産合計	109	100
投資その他の資産		
投資有価証券	2,203	1,996
繰延税金資産	49	5
その他	315	308
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	2,537	2,279
固定資産合計	6,494	6,170
資産合計	35,901	34,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,529	1,366
リース債務	37	37
未払法人税等	198	23
未払消費税等	77	42
賞与引当金	193	49
役員賞与引当金	16	10
歩戻引当金	10	16
その他	417	486
流動負債合計	2,481	2,031
固定負債		
退職給付に係る負債	2	2
リース債務	30	21
繰延税金負債	178	167
長期預り保証金	372	372
その他	7	6
固定負債合計	592	571
負債合計	3,073	2,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	22,960	22,459
自己株式	△100	△100
株主資本合計	32,688	32,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	118
その他の包括利益累計額合計	139	118
純資産合計	32,827	32,306
負債純資産合計	35,901	34,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,864	2,835
売上原価	1,525	1,571
売上総利益	1,338	1,263
販売費及び一般管理費	1,097	1,095
営業利益	241	168
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	4	4
システム使用料	4	—
その他	4	3
営業外収益合計	23	25
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	20
デリバティブ評価損	1	2
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	23
経常利益	261	170
特別利益		
持分変動利益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産処分損	0	5
投資有価証券評価損	—	128
特別損失合計	0	133
税金等調整前四半期純利益	261	48
法人税、住民税及び事業税	120	8
法人税等調整額	△58	41
法人税等合計	62	50
四半期純利益又は四半期純損失(△)	199	△1
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	199	△1

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	199	△1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△20
その他の包括利益合計	△24	△20
四半期包括利益	174	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

セルジェンテック株式会社は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,370	493	2,864
セグメント利益	444	14	458

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	458
全社費用 (注)	△216
四半期連結損益計算書の営業利益	241

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,332	502	2,835
セグメント利益	346	52	398

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	398
全社費用 (注)	△230
四半期連結損益計算書の営業利益	168

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。